



とくしま 県議会だより

第112号【年4回発行】

令和4年1月30日

編集・発行／徳島県議会

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

TEL.088-621-3010

FAX.088-655-2530

ホームページアドレス

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>



11月定例会の概要 会期 令和3年11月26日～12月16日

第6波への備えと経済対策に即応した補正予算などを可決

開会日には、指定管理者の指定に伴う債務負担行為を設定する補正予算などが提案され、新型コロナワクチンの3回目接種の推進、病床逼迫時に一時的に患者を受け入れる臨時医療施設の設置などについて、所信が述べられました。

また、開会中に、国の経済対策に呼応し、16カ月予算の第1弾として、新型コロナ対策や戦略的な県土強靱化^{きょうじゅんか}などのための補正予算が追加提案されました。

代表・一般質問では、知事の政治姿勢、新型コロナワクチンの追加接種の取り組み、コロナ禍の影響を見据えた自殺対策や介護ロボットの導入支援等の福祉施策、豪雨災害の教訓を踏まえた災害対応力の強化、離職者への支援をはじめとした雇用対策、本県の農林水産物の輸出拡大や野生鳥獣の捕獲強化、高校スポーツの競技力向上や小中学校連携による学力向上等の教育施策、サステナブルファッションへの取り組みや成年年齢引き下げに向けた周知・啓発等の消費者施策、そのほか、燃料電池バスの導入拡大、とくしま記念オーケストラ事業などについて論議しました。

今定例会では、「原油価格高騰への総合的な対策を求める意見書」等の意見書4件、条例改正1件、規則改正1件を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案26件を原案どおり可決・同意・認定、請願2件を採択しました。

10月臨時会の概要

令和3年10月29日、新型コロナウイルス感染症の第6波を見据えた体制確保を図るとともに、喫緊の課題に切れ目なく対応する補正予算案等を審議するため、臨時会が招集されました。

知事から、新型コロナウイルス感染急拡大から県民を守る緊急対策として、検査体制の強化や医療提供体制の確保などの施策のほか喫緊の課題への対応を盛り込んだ総額18億円の10月補正予算及び人事案件が提案され、原案どおり可決・同意しました。

11月定例会の主な審議の結果

●可決・同意・認定された議案

- 令和3年度補正予算
 - ・一般会計（2件）／補正予算額は224億1,691万円の増額で、補正後の予算は、5,760億4,997万3千円
- 条例の改正（8件）
 - ・徳島県議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正について（議員提出）
 - ・知事等の給与に関する条例の一部改正 など
- 条例の廃止（1件）
- 指定管理者の指定（5件）
- 契約案件（1件）
- 人事案件（1件）
- 決算の認定（3件）
- 剰余金の処分及び決算の認定（4件）
- その他（3件）・徳島県議会会議規則の一部改正について（議員提出） など

●可決された意見書（4件）

- ・原油価格高騰への総合的な対策を求める意見書
- ・インボイス制度導入に係るシルバー人材センターへの適切な措置を求める意見書
- ・国の教育政策における財政的支援を求める意見書
- ・森林整備等林野関係事業の推進に関する意見書

●採択された請願（2件）

- ・インボイス制度導入に係るシルバー人材センターへの適切な措置を求める請願
- ・国の教育政策における財政的支援に関する請願

提出議案や各議員の表決態度については県議会ホームページに掲載しています。

[徳島県議会 定例会の概要](#)

[検索](#)



県民に開かれた議会活動及び芸術・文化の振興のため、また、四国大学との包括連携協定に基づく事業の一環として、令和3年12月15日、県議会議事堂ホールにおいて、四国大学文学部書道文化学科の学生による書道パフォーマンスを実施しました。

まず、令和3年を象徴する漢字として、学生が選んだ「初」と「繋」の一字書きを、次に、「夢に向かって…」と「多様性の時代へ」をテーマとした作品を、音楽に合わせて、全身を使った豪快な筆遣いで書き上げました。

- 初…世界で初めて本県で営業運行されるDMV（デュアル・モード・ビークル）から
- 繋…新首相への交代や東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー継承などから

*新型コロナウイルス感染症対策として、観覧者を最小限にするとともに、議会情報コーナー及び各執務室で視聴ができるよう、庁内テレビでの放送を実施しました。

きら 煌めけ徳島！ 議事堂ホールで書道パフォーマンス

動画も
見てね



代表質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

答 知事の答弁 答 関係部局の答弁

新型コロナウイルスの第6波による感染拡大への対策強化を



寺井正通 (徳島県議会自由民主党)

問 今後の感染拡大に備え、保健・医療提供体制をどのように構築するのか。また、重症化リスクの高い高齢者が生活する高齢者施設における感染対策にどう取り組むのか。

答 病床確保や宿泊療養施設を拡充し、新たな変異株の早期探知に向け検査体制を強化する。また、高齢者施設でのワクチン接種と定期的検査による感染防止対策を積極的に展開する。

問 本県の競技力向上やスポーツ振興のため、オロナミンC球場(鳴門市)の環境整備が必要。野球をする人・見る人にとって安全安心で快適な施設となるよう早急に検討を行うべき。

答 建設後48年が経過し、老朽化が著しく、抜本的対策の検討が必要な状況。本県球界のシンボルとなる施設とすべく、有識者で構成する検討会議を立ち上げる。

問 農業の担い手不足の解決には、生産性を高める技術の開発・実装が不可欠。高収益化を実現するため、一歩先を行く技術を活用した研究開発にどのように取り組むのか。

答 生産効率を高めるスマート技術を組み込んだ栽培体系の確立や、DNAマーカーを用いた優良品種の開発を進める。また、共同研究等を通じ、研究員の能力向上を図る。

令和4年度当初予算編成方針と国の経済対策への対応は



岡本富治 (徳島県議会自由民主党)

問 来年度の当初予算編成に向けて、どのような方針で臨むのか。また、国が12月中旬の成立を目指している経済対策に基づく補正予算に、どう対応していくのか。

答 当初予算に新次元の分散型国土創出枠を設け、16カ月予算として補正と一体的に編成する。まずは国の経済対策に即応する予算案を速やかに編成の上、追加提案する。

問 県内経済は依然厳しい状況で、アフターコロナを見据えた支援の拡充が必要。企業が事業を継続し、雇用が安定する持続可能な経済を実現するため、どう取り組むのか。

答 商工団体とも緊密に連携し、県内企業の生産性向上に向けた設備投資や事業再構築への支援を行うとともに、伴走支援型経営改善資金の拡充などに取り組む。

問 勝浦川水系流域治水プロジェクトが、8月末に公表された。直ちに漏水対策を事業化すべきだが、プロジェクトに示された対策について、どのように具現化するのか。

答 正木ダム貯水池での堆砂除去、潜水橋星谷橋の架け替え支援、江田地区での令和4年度中の事業化などに取り組み、流域治水として水害リスクマネジメントを実装する。

育休退所や待機児童問題の支援等を一層進めるべき



仁木啓人 (新しい県政を創る会)

問 育休退所・退園及び待機児童の問題は、子育て世代にとって子どもを産み育てる機会の制限となるため、県内の自治体と連携協力し、助言、指導、支援を一層進めるべき。

答 保育士資格取得の修学資金の貸し付け等により保育士不足の解決に努めているほか、今年度設置した待機児童解消に向けた対策検討会で取り組みの強化を検討する。

問 堤防の有効活用を図る上で、堤防舗装の事業化は高い効果が得られると考える。阿南市内の県管理河川における堤防舗装について、具体的にどのような計画で取り組むのか。

答 福井川の湊橋から大原橋、桑野川の新大地橋から桑野橋、岡川の文化橋から清水橋の区間における左右岸の堤防天端の舗装などについて、来年度から、順次着手を目指す。

問 ワクチン接種の対応から認識した課題である離島における夜間の救急搬送について、住民の安全と安心を担保するため担当課と協議を重ねてきたが、今後どう取り組むのか。

答 夜間の救急搬送について、徳島海上保安部や地元市町、消防機関と相互の連携協力体制を改めて整えた。今後とも、連携を密にし、安全安心な救急搬送体制の確保に取り組む。

一般質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

答 知事の答弁 答 関係部局の答弁

新型コロナウイルスに対し総力体制で立ち向かう取り組みを



西沢貴朗 (徳島県議会自由民主党)

問 全ての人々の人権や幸福を守るため、新型コロナウイルスのような危機に対しては、全ての国、組織、個人がひるむことなく、前向きに、総力体制で立ち向かうべき。

答 知事が陣頭に立ち、県、県議会、市町村、県民の団結の下、我が国が歴史的危機を克服できるよう、新たな変異株への対応など、国と心を一つに全力で取り組む。

問 GIGAスクール構想におけるタブレットを利用し、子どもたちが、一人一人またはグループで得意技を持てるよう、「一人一得意技家庭内学習」を行うってはどうか。

答 県立総合高等学校における一部講座でのリモート配信や興味ある講座が簡単に探し出せるサイトの構築を行うとともに、子どもの得意分野を伸ばす講座を増やしていく。

問 コロナ禍によりアルコール依存症患者の増加が心配される。県民が酒害について正しく理解し、必要な方を、皆がいち早く専門医や断酒会へつなげられるようにすべき。

答 酒害に関する啓発動画を作成し、知識の普及と理解を促進するとともに、全ての関係者等がしっかりと相談から治療につなげ、アルコール依存症の撲滅を目指す。

県内ヤングケアラーの実態調査の早期実現を



山西国朗 (徳島県議会自由民主党)

問 昨年度国が全国調査を実施したが、本県で独自に調査をしなければ、隅々まで実態把握ができず、適切な支援に結び付けられない。県内における実態調査を早期に実施すべき。

答 県児童虐待防止対策会議の下に研究会を設置し、課題共有や連携強化を図っている。来年度の実態調査実施に向け、庁内プロジェクトチームで調査手法を検討する。

問 先般の県内製薬会社の不正事案を踏まえ、県はどのように再発防止を図るのか。また、本県の主要産業である医薬品産業の信頼回復にどうつなげるのか。

答 立入調査の強化や新たな「薬事コンプライアンス対策会議」の立ち上げ等、医薬品製造の適正な品質管理に向けた取り組みを強化し、再発防止を図るとともに信頼回復につなげる。

問 被災後の復旧・復興を進める上で、災害廃棄物の迅速かつ円滑な処理が重要。これまでも計画を策定しているが、より具体的な対策を強化すべき。

答 災害廃棄物の仮置場等の円滑設置のため、プロジェクトチームを設置し、デジタル技術や処理段階のエネルギー活用等の視点を取り入れ、災害廃棄物処理計画を改定する。

後期高齢者医療の窓口負担引き上げの中止要請を



臼木春夫 (新風とくしま)

問 後期高齢者医療制度における窓口負担2割への引き上げは、低所得世帯の高齢者に大きなダメージを与える。全国知事会に働き掛けするなど国に対して中止を要請すべき。

答 全国知事会の提言の結果、所得要件による対象者の限定や激変緩和措置等の配慮がなされた。今後も高齢者の受診抑制にならないよう医療保険制度の適正な運営に努める。

問 昨今のサイバー犯罪の発生状況やデジタル化の進展に鑑み、的確に対処できる体制が必要。担当職員の増員や対処能力の向上など、サイバー犯罪部門をさらに強化すべき。

答 サイバー犯罪に的確に対処するため、サイバー犯罪捜査官の採用や若手捜査員を対象としたサイバー捜査特別研修の実施など、組織基盤のさらなる強化に努める。

問 子どもの貧困解消には、目の前の困難に対する支援に加え、長期的な視点での支援が必要と考える。子どもの貧困対策に向け、特に、ひとり親への支援にどう取り組むのか。

答 短期的には県産食品を無償配布するパントリー事業の年末特別便を発送予定。長期的支援として資格取得の支援などを行い、ひとり親家庭の生活を守り、自立を促進する。

【答】ソーシャルワーカーや社会復帰支援団体などを交えた検討の場を年度内に設置。がん患者の社会活動や、QOLの維持・向上に必要な施策を検討する。

【問】がんと懸命に向き合う県民の経済的・精神的負担を少しでも軽減し、就労や学業復帰、社会参加を後押しするための、助成事業を創設すべき。

【答】定時制・通信制教育推進会議を設置し、県内6校が大学や企業と協働して指導方法等の研究に取り組む。また、ICTを効果的に活用した本県ならではの教育を創り上げる。

【問】高校の定時制・通信制課程では、コロナ禍による影響もあり、より一層、生徒一人一人の背景や個性を踏まえ、生徒に寄り添った指導の充実を図るべき。今後の取り組みは。

【答】医療的ケア児支援センターの22年度中の設置を目指し、12月に検討会を立ち上げる。また、市町村と連携し、相談支援事業所への医療的ケア児等コーディネーター配置を推進。

【問】医療的ケア児を支える家族の負担は大変重く、家族が抱えるさまざまな悩みや課題にワンストップで対応できる体制の整備が急がれるが、今後、どう取り組むのか。



かじわらかずや
梶原一哉
(公明党県議団)

医療的ケア児やその家族を支援する体制の整備を

【答】コロナ禍で得られた運営ノウハウを横展開するため、取り組み事例の紹介や相談体制の構築等、ニューノーマルに対応した観光イベントの開催に向けた環境づくりに取り組む。

【問】魅力あふれるイベントの復活が経済の回復にもつながる。コロナの収束が見通せない中、県内観光イベントを復活させるべく、ニューノーマルの取り組みを推進すべき。

【答】情報モラル教育・啓発のための学習教材や動画の公開に加え、ネットパトロールを実施中。12月にはネットいじめをテーマに、いじめ問題子どもサミットを開催する。

【問】インターネットの普及に伴い、子どもたちのSNS上でのいじめやトラブルへの対応が重要な課題となっている。教育現場での取り組みをどのように強化するのか。

【答】若者と地域の結びつきの強化を図る事業や、若者の主体性、チャレンジ精神を引き出し、一人一人の可能性を地域とつなげる新たな取り組みを強力に展開する。

【問】アフターコロナを見据えた人口減少対策として、コロナ禍で生じた地方回帰の機運の高まりを絶好の機会と捉え、若者の県内定住・定着の推進にどう取り組んでいくのか。



なみこしけんいち
浪越憲一
(グローバル)

徳島ならではの若者の県内定住・定着を進めるべき

常任委員会

11月定例会委員会の概要

特別委員会

●総務委員会

公安委員会関係では、交通安全対策等について、**未来創生文化関係**では、徳島文化芸術ホール(仮称)の整備、とくしま記念オーケストラ事業について、**経営戦略部・監察局関係**では、一般歳入金等のキャッシュレス決済の導入、県の情報セキュリティ対策について、**政策創造部関係**では、デジタル格差解消に向けた支援の状況についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●文教厚生委員会

保健福祉部・病院局関係では、オミクロン株への対策や陽性者、濃厚接触者への対応、新型コロナウイルスの追加接種、県内医療機関におけるサイバー攻撃、災害時における病院の対応について、**教育委員会関係**では、高校スポーツの競技力向上、公立高校の入学選抜方法の改善、学校教育の在り方、高速ネットワーク回線の増設についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●経済委員会

労働委員会関係では、労使紛争解決に向けた関係機関との連携について、**商工労働観光部関係**では、海外への販路拡大の取り組みとその実績、地域観光事業支援の対象地域拡大、小規模事業者の経営力強化について、**農林水産部関係**では、スタチの新品種「勝浦1号」の特徴と導入効果、収入保険と野菜価格安定制度についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●県土整備委員会

県土整備部関係では、JR牟岐線への新駅設置により見込まれる効果、一般国道195号白瀬トンネル(仮称)の進捗状況について、**企業局関係**では、日野谷発電所の大規模改修に合わせた出力アップについて、**危機管理環境部関係**では、災害廃棄物処理計画改定に向けた検討状況、新たな消費者基本計画の特色、若年者の消費者被害予防についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●地方創生対策特別委員会

ゆめみシーサイド号の実証運行の概要及びPR方法、野生鳥獣対策に係る新たな目標設定及びとくしまハンティングスクールの概要、DMVの導入効果について、質疑がありました。そのほか、マイナンバーカードの交付状況、徳島県奨学金返還支援制度の利用状況、上半期の移住者数の状況、徳島環状線の進捗状況などについて、質疑や提言がありました。

●防災・感染症対策特別委員会

山地防災をはじめとした林野関係事業の取り組み、新型コロナウイルス感染症に関し、オミクロン株の感染状況及び感染力・重症化率等の特徴、第6波に備えた確保病床数、追加接種に係るワクチンの種類、ワクチン・検査パッケージの導入等について質疑がありました。そのほか、新型コロナの影響による県内事業者の倒産状況、避難所の運営等について、質疑や提言がありました。

●消費者・環境対策特別委員会

徳島県版・脱炭素ロードマップ(案)に関して、グリーンスローモビリティや県有施設への太陽光発電の導入、エシカル農業や地域マイクログリッドの推進について質疑がありました。そのほか、新たな消費者基本計画(素案)に係る全世代への消費者教育の必要性和今後の展開、野生鳥獣の適正管理、県管理河川の環境保全などについて、質疑や提言がありました。

●次世代育成・少子高齢化対策特別委員会

青少年センターで新たにeスポーツ等を実施するためのデジタルスタジオの運営、行政文書における各種様式の性別記載欄の見直し状況について質疑がありました。そのほか、本県におけるがん検診の受診状況、子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種に関し、今後のスケジュールや周知・啓発の取り組みなどについて質疑や提言がありました。

用語解説

※1【サステナブルファッション】

衣類の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取り組みのこと。

※2【DMV(デュアル・モード・ビークル)】

線路と道路の両方を走行できる車両のこと。

※3【DNAマーカー】

交配により得られた品種が、目的とする特性を持っているかどうかを確認するための目印となる塩基配列のこと。これにより、品種の選抜にかかる時間やコストの低減が図られる。

※4【医療的ケア児】

人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。

※5【QOL】

Quality of Lifeの略。生活の質のこと。

※6【ニューノーマル】

新型コロナウイルス感染症対策のため浸透した新しい生活様式のこと。

※7【ゆめみシーサイド号の実証運行】

三好市をはじめとする「にし阿波」と鳴門方面を乗合バスで1日4往復する実証運行のこと。

※8【グリーンスローモビリティ】

時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスのこと。

※9【地域マイクログリッド】

平常時は地域の再生可能エネルギー電源を有効活用しつつ、系統を通じて電力供給を受け、非常時には系統から切り離され、その地域内で自立的に電力供給が可能なシステムのこと。

※10【キャッチアップ接種】

子宮頸がんワクチンの積極的な接種勧奨の差し控えにより、定期接種の機会を逃した人へのワクチン接種のこと。

～徳島県議会と大学との包括連携協定事業～

徳島文理大学 教授による 講演会

県議会の政策形成等に資するため、令和3年12月15日(水)、「コロナ禍の状況で人々が求める看護とは?」と題して、徳島文理大学保健福祉学部看護学科長 大岡裕子教授に講演していただきました。



パネル展

徳島県議会議事堂1階ホールにおいて、11月定例会開会中(令和3年11月26日から12月16日まで)、四国大学文学部書道文化学科の学生の作品を展示しました。



議会トピックス

- 都道府県議会議員研究交流大会に議員がオンライン参加しました。(11月15、16日)
- 四国大学との包括連携協定に基づく事業として、経営情報学部の学生を対象に、議員が講義を行いました。(11月17日)
- 市議会議長会、町村議会議長会及び県議会が3団体合同で、自由民主党本部等に対し、参議院選挙における合区解消など4項目について要望を行いました。(11月22日)
- 議決対象としている『「未知への挑戦」とくしま行動計画』に係る全議員勉強会を開催し、質疑・提言を行いました。(12月16日)

本会議をインターネット中継「YouTube」で配信

県議会のホームページでは、本会議の様態をインターネット動画配信サイト「YouTube」(ユーチューブ)を利用して、生中継及び録画配信中!

県議会ホームページからはもちろん、YouTubeからも検索可能ですので、是非「徳島県議会公式チャンネル」をご覧ください。



徳島県議会
公式チャンネルは
こちら

議員連盟の活動

- 北朝鮮日本人拉致問題早期解決促進議員連盟が、全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会に出席しました。(11月13日)
- 四国公共交通議員連盟が、国土交通省に対し、公共交通の維持・活性化及び四国新幹線導入に関する要望を行いました。(11月15日)
- 四国観光議員連盟が、国土交通省観光庁等に対し、新型コロナウイルス感染症対策に関する要望を行いました。(11月16日、17日)
- 観光振興議員連盟が、地元観光キャンペーン関連ツアーの視察を行いました。(11月19日)
- 南海地震対策議員連盟が、災害時におけるトイレ問題について、勉強会を開催しました。(11月26日)
- 徳島自動車道整備促進議員連盟が、徳島県等と合同で、国土交通省等に対し、徳島自動車道の早期4車線化に向けた政策提言を行いました。(12月3日)

県議会について、詳しく知りたい時は・・・「徳島県議会」で検索

県議会ホームページでは次のような情報を発信しています

- トピックス 議会日程や代表・一般質問における質問予定項目など、議会の最新情報を発信しています
- キッズページ 主に小学校高学年を対象として、県議会の役割などを分かりやすく説明しています
- 本会議・委員会記録 本会議や委員会の記録を掲載しています
- 議長へのメール 議会に対する御意見・御提言はこちらへ
- 議員紹介 会派別、選挙区別に議員の紹介をしています

徳島県議会



県議会だより「録音版」「点字版」を発行しています

県議会では、目の不自由な方に、県議会の活動をより知っていただくため、「県議会だより」の録音版(カセット・CD)・点字版を発行しています。ご希望の方は、次のところへご連絡ください。

連絡先/障がい者交流プラザ 視聴覚障がい者支援センター
TEL: 088-631-1400

なお、県議会ホームページに、県議会だよりのPDF版に加え、音声版も掲載していますので、ご利用ください。

議会見学会の ご案内

議事堂を見学してみませんか。議場で本会議の模擬体験ができる「子ども模擬議会」(小学校高学年向け)もできます。学校の社会見学や地域での学習会などにもご活用ください。電話でお申し込みの上、見学申込書を提出してください。
TEL: 088-621-3010

【見学に来られた方々】

- 林小学校(阿波市)
- 板野南小学校(板野町)
- 平島小学校(阿南市)
- 鳴門東小学校(鳴門市)
- 岩倉中学校(美馬市)
- 佐那河内中学校(佐那河内村)
- 鳴門教育大学教職大学院(鳴門市)

申込
方法等は
こちら



議会 日程

※日程は予定であり、変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「本会議の傍聴」及び「委員会の視聴」の自粛をお願いする場合があります。

令和4年2月定例会の日程

- 2月7日…………… 常任委員会
- 2月8, 9日…………… 特別委員会
- 2月10日…………… 本会議(開会)
- 2月16日…………… 本会議
(代表質問・一般質問)
- 2月17, 18日…………… 本会議(一般質問)
- 2月22, 24, 25, 28日… 常任委員会
- 3月1, 2日…………… 特別委員会
- 3月9日…………… 本会議(閉会)

議会クイズ

正解者の中から抽選で10名様に、「阿波ういろ」と「阿波番茶」をセットにして、プレゼントいたします。



令和3年12月15日に実施した書道パフォーマンスで、四国大学文学部書道文化学科の学生の皆さんは、「令和3年を象徴する漢字」として、「〇」と「繫」を選びました。さて、〇に入る漢字一文字は何でしょうか。 ①金 ②初 ③翔

- 応募方法: はがき、応募フォーム、電子メール又はファクシミリでクイズの答え、住所、氏名、電話番号、「とくしま県議会だより」についての感想を記入の上、次の宛先までお送りください。
※ご応募は、お一人につき1通までとさせていただきます。
- 応募先: 〒770-8570 (住所記入不要)
徳島県議会事務局 政策調査課
メールアドレス: tokushimakengikaidayori@pref.tokushima.jp
ファクシミリ: 088-655-2530

ヒントは
紙面上に
あります!

応募フォームは
こちら →



- 締切: 令和4年2月28日(月) 消印有効
(当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。)
- ※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します。

「阿波ういろ」と「阿波番茶」

もっちりした食感が特長の徳島の伝統的な蒸し菓子「阿波ういろ」と、本場相生(那賀町)の良質な茶葉を後発酵させた「阿波番茶」をお楽しみください!



10名様に
プレゼント

【提供】
公益社団法人 徳島県産物協会
「あるで徳島」